

人を対象とする医学系研究にご協力頂いている学生の保護者様へ

本学において、学生の皆様から取得した情報を利用して下記の研究を行います。研究目的、情報の利用は以下の通りです。本研究は、城西大学学長藤野陽三の承認を得て食事介入と冷水負荷試験に加えアンケート調査、血圧、腋窩(脇の下)温度、体格測定を実施します。

調査を行うにあたり、得られたデータの取り扱いは、個人情報の保護などの観点から十分に配慮して行います。

研究の参加に関しましては、同意書の提出を以て同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名 「冷えに及ぼす食物摂取の影響」

● 研究対象者の範囲

先行研究(2020/12/18~2021/1/31に実施された「冷えと食生活に関するアンケート」調査)より、介入研究へのボランティアとしての参加を受諾し、条件を満たした城西大学薬学科・薬科学科・医療栄養学科の女子学生

① 試料・情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)

1) 研究の目的

近年、身体の冷えを感じる女性が増加しています。大学生を対象とした研究では、女子学生の約半数が冷えを感じているとの報告があります。また、これまでの研究で冷え症者の特徴としてBMIが低い、ストレスが多い、特性として神経症的傾向があるなどの報告がされています。

冷え症の治療として、冷え症者は体を冷やす寒涼性食品を取り入れない食事療法が必要であるとされています。これまでの冷え症と食性との関連では、冷え症者における麺類の摂取が多いことが示されています。麺の主成分である小麦は体を冷やす寒涼性食品であることから冷えと食物摂取は関連している可能性があります。しかし、冷えと食物摂取との関係については十分に解明されていません。

本研究は、食物摂取が冷えに及ぼす影響について小麦に焦点を当て調査を行います。すなわち、涼性食品である小麦摂取(食パン)と、温性食品である小豆、もち米(赤飯)の摂取の影響について検討します。更には、体格、ストレス、性格等についても調査を行います。これらの結果を用いて、冷えに及ぼす食性の影響とその他の要因の解析を行い、冷え症の予防・改善に寄与することを目的とします。

2) 研究期間 倫理審査委員会の承認後 ~ 2022年 3月 31日

*研究にご協力いただくのは2021年4月01日~2021年6月30日のうちの計4週間です。

3) 他の機関への提供の方法

該当無し

② 利用又は提供する試料・情報

冷水負荷試験(冷水負荷後の左手中指皮膚表面温度)結果、アンケートの記録、血圧、腋窩温度、InBody、による体格測定の結果

③ 利用する者の範囲(研究を実施する全ての共同研究機関の名称及び研究責任者の氏名)

1) 研究機関名及び研究責任者氏名

城西大学薬学部医療栄養学科栄養教育学講座 山王丸靖子

2) 共同研究機関名及び研究責任者氏名

なし

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の所属・氏名

城西大学薬学部医療栄養学科栄養教育学講座 山王丸靖子

⑤ 拒否機会の確保(研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止すること)

本研究の参加者は、同意書の提出がないことによって参加を拒否することができます。一度同意された場合でも、いつでも撤回することができます。また、研究への参加を拒否することで、不利益等を受けることは一切ありません。

⑥ ⑤の研究対象者又はその代理人の求めを受け付ける方法

eメールにて受け付ける。

※研究対象者等が研究計画書及び研究方法に関する資料を入手又は閲覧する方法

他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、城西大学薬学部医療栄養学科栄養教育学講座で研究計画書及び研究方法に関する資料の閲覧を行う事ができます。

[研究対象者等及びその関係者からの相談窓口]

担当者 城西大学薬学部医療栄養学科栄養教育学講座 山王丸 靖子

電話 049-271-7257 メールアドレス sanchan3@josai.ac.jp